

大方球場改修や 佐賀北部集落活動センター整備など追加

●平成28年度一般会計補正予算
4937万円を追加し、歳入歳出総額を121億6350万円とするもの。

増額の主なものは、より大きな経済効果が見込まれる大方球場の改修、佐賀北部の集落活動センターの直販所、および若山楮（こうぞ）作業棟の新設、不良住宅の除却などの防災面や移住促進を目的とした空き家対策実態調査業務委託の経費など。可決（全員）

主な補正

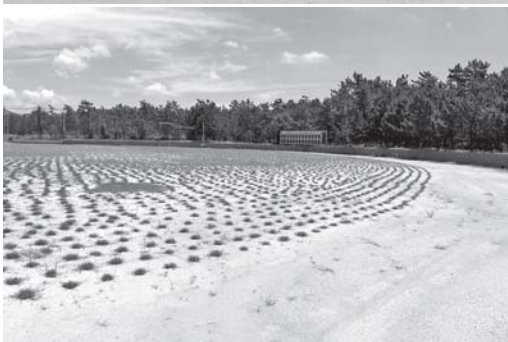
スポーツ合宿で
2000泊の経済効果を

■大方球場の改修費

6505万円

球場フェンスのガードクッション、排水溝などの安全性の確保と、雨天ピッチング練習場などの施設の充実を図るための改修。これにより、大学、高校の4校で年間300

補助球場からピッチング練習場を挟んで大方球場本球場を望む。



(写真は全て7月4日撮影)

芝生を育成中の大方球場(左)



雨天対応となるピッチング練習場

人、延べ2千泊の経済効果を見込むもの。

Q 宮地 葉子議員

雨天ピッチング場は、どこに設置するのか。

A 森田 総務課長

球場と補助球場の間のスペースに設置する。

■空き家対策実態調査業務委託費 888万円

国の補助金を活用し、不良住宅の除却などの防災面や、移住促進を行う上で1千軒以上あると思われる空き家の現状を把握するためのもの。

Q 森 治史議員

委託先はどこか。

A 金子 まちづくり課長

委託先は、まだ決定していない。コンサルからの見積もり等を取り、決定する予定。

■介護ロボット等導入支援特別事業費 299万円

全額国の交付金を活用した見守り支援システムの導入により介護従事者の負担軽減を図り、働きやすい職場環境の整備による介護従事者の確保を目的としたもの。

Q 森 治史議員

この事業により、ロボットの導入を予定している事業所はあるのか。